

## 記者発表資料

平成26年 3月18日  
雲仙復興事務所空から溶岩ドームを調査！  
—溶岩ドーム対策における関係機関の連携強化に向けた取り組み—

平成新山山頂部には、雲仙普賢岳噴火活動により噴出した火山堆積物（溶岩ドーム）が不安定な状態で存在しています。

平成24年度に行われた「雲仙・普賢岳溶岩ドーム崩壊に関する調査・観測及び対策検討委員会」において、溶岩ドーム監視体制の強化や関係機関の連携強化について提言を受けております。

そこで溶岩ドーム崩壊対策の取り組みの一環として、九州大学の太田名誉教授、島原半島3市（市長含む）と合同で、ヘリコプター（はるかぜ号）による溶岩ドーム現地調査を下記のとおり行います。

## 記

## ■溶岩ドーム現地調査演習

【日時】平成26年3月20日（木）

（九州大学の太田教授との調査は10時～10時30分の見込み）

※当日の天候等により、行程が変更となる場合があります

【離発着場】別紙1参照

【参加機関】九州大学大学院理学研究院附属 地震火山観測研究センター  
島原市・南島原市・雲仙市  
雲仙復興事務所

【取材等】事前に別紙2にて申し込み下さい

※はるかぜに搭乗しての取材はできかねますので、ご了承下さい

## 問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所  
(0957) 64-4171（代表）

技術副所長 古賀 唯雄（内204）

調査課長 目床 順司（内351）

ホームページアドレス：<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

位置案内図



ヘリ乗降場所: 船泊ヘリポート(集合場所)



## 溶岩ドーム現地調査演習 取材申し込み用紙

所 属	氏 名	中止時の連絡先

取材を希望される場合は本用紙に所属と氏名を記入の上、  
下記までFAXにて提出下さい  
また、天候不良等による中止時の連絡先を記入して下さい  
(締切:平成26年3月19日17時)

○提出先

雲仙復興事務所調査課

TEL:0957-64-4171

FAX:0957-63-0914